

裏面は
甲州道中

2019.11 3000

1
和田峠

（標高約1、600）

2 石小屋跡

の小屋、その痕跡が今も残ります。
(標高約1、450m)

跡。町指定文化財です。
(標高約1,000m)

3 西餅屋

餅屋」と呼ばれました。また口留番所が置かれていました。
(標高約1,300m)



明治期
(下証)
(原本)

A map showing the location of Kikunaka-chō (萩倉中町) and Kikunaka (萩倉) relative to the Sagami River (Sagami-gawa). The river is depicted as a blue line flowing from the top left towards the bottom right. Kikunaka-chō is marked with a white dot and labeled in black text. Kikunaka is marked with a white dot and labeled in black text. A yellow line, likely a road, runs parallel to the river, passing between the two locations.

A map showing the location of Kikunaka-chō station. The station is marked with a white circle and labeled '萩倉中町'. The map includes a yellow line representing a road or railway and a blue line representing a river. Other labels include '客坂' (Kakusaka) and '萩' (Hagi).



中山道

江戸を起点とする五街道（東海道、中山道、甲州道中、日光道中、奥州街道）の中でも、中山道は東海道とともに江戸と京都を結ぶ重要な街道となりました。

から大いに賑わいました。



はここまでが「山出
約1ヶ月後、
ここから



至岡谷
下諏訪
下諏訪町

AED AED AED

総合文化センター 総合体育館

おくら 宝華
(H) (R)
新派
三澤屋書店
ゴロドリナ
ダイシメ惣菜店
ショップ共益
諏訪御湯鶴
酒造場
加宿
友之町
パン工房
たるかわ
中山道
京都へ
大社通り



1 和田峠

中山道最大の難所といわれた和田峠。峠の頂上には御嶽山遙拝所碑や馬頭観音碑、賽の河原地蔵が建っています。
(標高約1,600m)

2 石小屋跡

安政二(1855)年、六月下之原村が、峠を往来する旅人の安全のため、五十両の寄進を得て作った石積み小屋。その痕跡が今も残ります。
(標高約1,450m)

樋橋付近詳細

浪人塚
(水戸浪士の墓)
元治元(1864)年、尊皇攘夷を掲げ水戸藩を脱藩した浪士軍が京へ向かう途上、阻止しようとした高島 松本藩と衝突し、その戦死者を悼んで塚が建立されました。
(標高約1,060m)

4 浪人塚

明治期の西餅屋
(下諏訪町宿場街道資料館展示資料)
(原本:横浜開港資料館)

3 西餅屋

旅人が杖をおいて休んだ場所を立場(たてば)といいます。ここは峠に向かう旅人が心を引き締め、峠を越えた人が疲れを癒した立場。力餅を売る四軒の茶屋があったことから「西餅屋」と呼ばれました。また口留番所が置かれていました。
(標高約1,300m)

5 樋橋本陣跡

とよはし
樋橋に置かれていた茶屋本陣小松家の屋敷跡。町指定文化財です。
(標高約1,000m)

6 一里塚

(五十四里)
江戸より五十四里。自然石の立派な石碑が建っています。

9 万治の石仏

春宮の近く、田んぼの中に鎮座する阿弥陀如来の石仏です。高さ2m余の自然石にちぎりと頭をのせた姿が興味深く、各界著名人が絶賛したことから広く知られるよ

10 下諏訪宿本陣

参勤交代の諸大名が泊まった本陣。皇女和宮がお泊まりになった上段の間が今もそのまま残されています。武家屋敷の佇まいや名園の風情も印象深いものです。(※要予約)

昭和19年御柱祭注連掛の神事(上)
現在の注連掛(右)

8 注連掛

御柱祭で御柱に注連縄を張る場所。下社の御柱はここまでが「山出し」で約7月後、ここから「里曳き」が始まります。

7 木落し坂

御柱祭の最大の見せ場として知られる諏訪大社下社「木落し坂」。長さ100m、斜度35度の難所です。
(標高約890m)

中山道

江戸を起点とする五街道(東海道、中山道、甲州道中、日光道中、奥州街道)の中でも、中山道は東海道とともに江戸と京都を結ぶ重要な街道となっていました。

この街道は、江戸日本橋を基点に武蔵国(埼玉県)から上野国(群馬県)を経て信濃国(長野県)、近江国(滋賀県)から京都に至るまでの約百三十二里、六十九次でした。

下諏訪宿は、甲州道中の終点にあって古くから諏訪大社の門前であり、また当時中山道で唯一温泉の湧く宿場でもあったことから大いに賑わいました。

地図の凡例

- 中山道(通行可能)
- 中山道(通行不可)
- トイレ
- バス停
- 温泉
- 足湯
- 旅館・ホテル
- 食事・レストラン
- 観光案内
- AED設置施設
- Wi-Fiスポット
- 神社
- 寺院

